

BOOS

取扱説明書

コンパクトサウンドシステムMk-2

HNB-PW3300Mk-2

このたびは「BOOS コンパクトサウンドシステムMk-2」
をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、機能を
十分に活かして正しくご愛用下さい。

お読みになった後は大切に保管し、ご不明な点や不具合が
生じた場合にお役立て下さい。

33Wパワーアンプ搭載

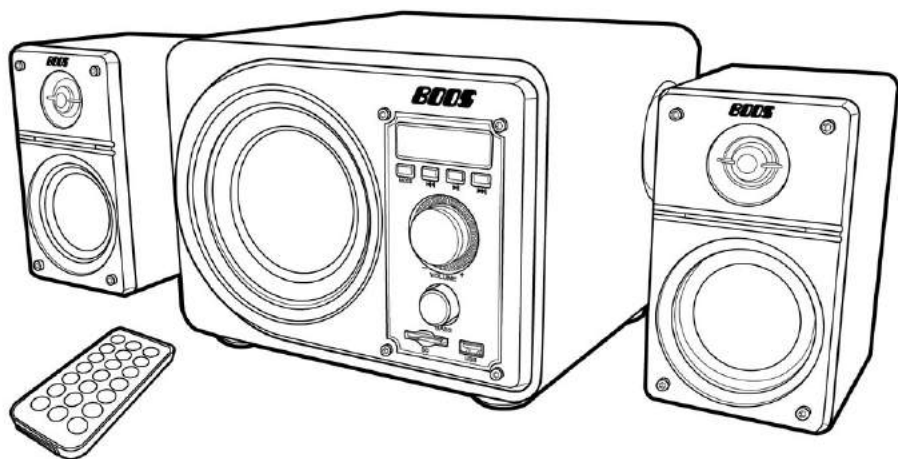
胸を突く重低音と透明感のある高音

SOUND+

プラス

INDEX

・安全上のご注意	1
・各部の名前	2
・セットアップの方法	3
・リモコンの使用方法	4
・Bluetoothの使用方法	5.6
・USBメモリー時の使用方法	7
・SDカード時の使用方法	8
・FMラジオの使用方法	9
・AUXの使用方法	10
・イコライザー/音量の使用方法	11
・お手入れの仕方/故障かな?と思ったら	12
・製品仕様	13
・保証とアフターサービス	14



 Bluetooth™

 SD™

 CERTIFIED USB

MP3

WMA

ワイドFM™

FM 補完放送

エッチ・エヌ・ビー販売株式会社

安全上のご注意

ご使用の前に、「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使い下さい。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや周囲の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分けしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守って下さい。

警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 プラグをコンセントから抜く	異常・故障時には直ちに使用を中止する。異常があった際は、電源プラグを抜く ●煙が出たり異常なおいや音がする ●内部に水や異物が入った ●電源プラグが異常に熱い ●本体に変形や破損した部分がある そのまま使うと火災・感電の原因となります。電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店にご相談下さい。	
	電源プラグのほこり等を定期的に掃除する プラグにはほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因となります。 電源プラグを抜き、乾いた布で拭いて下さい。	 電源コード/プラグを破損するようなことはしない (傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど) 傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因となります。
 濡れ手禁止	濡れた手で、電源プラグの抜き差しはしない 感電の原因となります。	 電源プラグは根元まで確実に差し込む 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。
 禁止	コンセントや配線器具の定格を超える使い方、AC100V以外での使用はしない たこ足配線等で定格を超えると、発熱による火災の原因となります。	 禁止 内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたり、濡らしたりしない ショートや発熱により、火災・感電の原因となります。 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないで下さい。 特にお子様にはご注意ください。
 接触禁止	雷が鳴ったら、本機や電源プラグに触れない 感電の原因となります。	 分解改造をしない 内部には電圧の高い部品があり、感電の原因となります。

注意

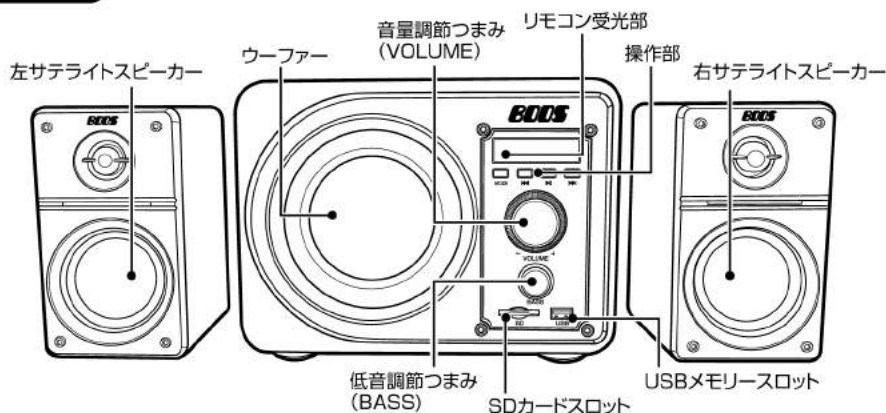
この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性、及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。

 禁止	放熱を妨げない 内部に熱がこもると、火災の原因となります。	 禁止 不安定な場所に置かない 高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない。 倒れたり落下すると、けがの原因となります。
 プラグをコンセントから抜く	長時間使わない場合やお手入れの際は、電源プラグを抜く 通電状態で放置・保管すると絶縁劣化、漏電などにより、火災の原因となる恐れがあります。	 禁止 電源コードを接続した状態で移動しない 接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因となる恐れがあります。 また、引っかけてけがの原因となる場合があります。
 禁止	湿気の当たる場所、ほこりの多い場所に置かない 電気が水分・ほこりを伝わり、火災・感電の原因となる恐れがあります。	 禁止 本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない 倒れたり落下すると、けがの原因となります。 また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因となります。
 禁止	異常に温度が高くなるところに置かない 本体温度が高くなりすぎると、火災の原因となる恐れがあります。直射日光の当たる場所、ストーブの近くでは特にご注意下さい。また、外装ケースや内部の部品が劣化する原因となるのでご注意ください。	

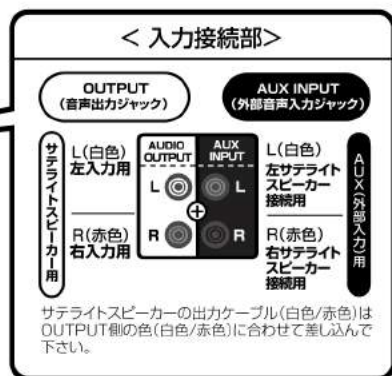
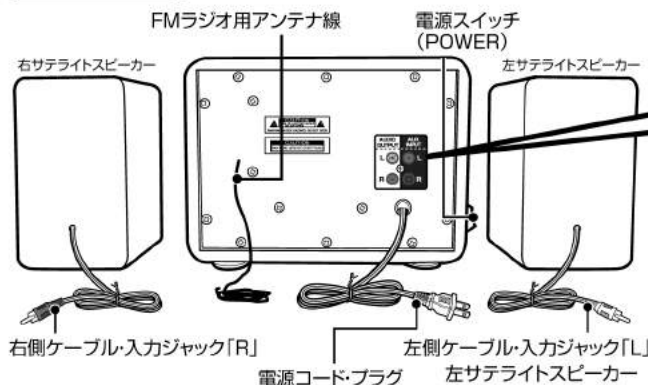
お読みになった後は、いつでも見られる場所で必ず保管して下さい。

各部の名前

本体前面



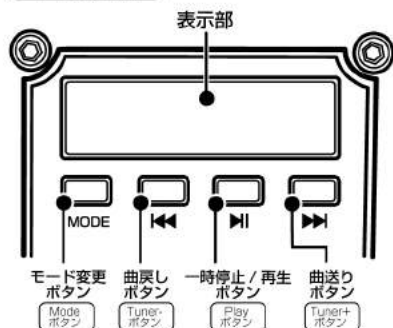
本体裏面



警告

iPhoneから本体にAUXケーブルで誤って「OUTPUT」に差し込むとiPhoneが破損する恐れがあります。配線の接続間違いによる破損の場合、弊社は一切の責任を負いません。

本体操作部



付属品

<AUX(外部接続)ケーブル>



<専用リモコン>



<保証書>



<取扱説明書>



セットアップの方法

本製品を安全にご使用いただくため、AC100Vのコンセントに接続する前に、必ずセットアップを行って下さい。

- 1** 本製品を平らな場所に設置して下さい。

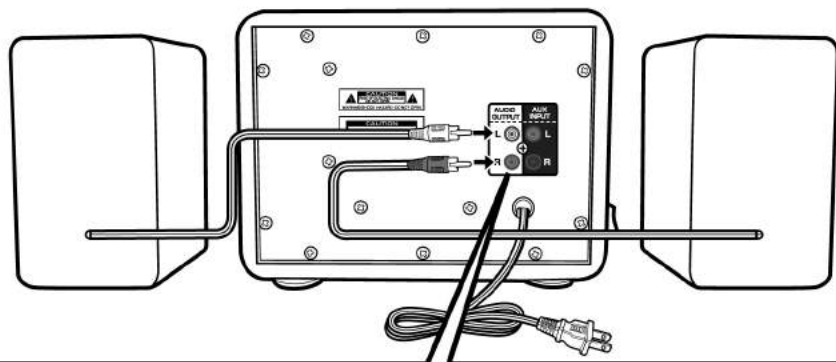
<設置イメージ>



本体と左右サテライトスピーカーは適切な
すき間を開けて設置して下さい。
音がこもる原因となります。



- 2** 本体背面部のOUTPUT部に、左右サテライトスピーカーの入力ジャックを差し込みます。



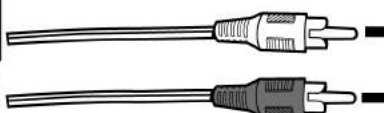
詳細図

<注意>

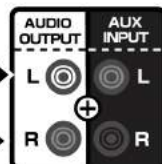
サテライトスピーカーのケーブルジャックは
OUTPUT側にしっかりと差し込んで下さい。

左側の白色ジャックは「L」に差し込み、
右側の赤色ジャックは「R」に合わせて
差し込みます。

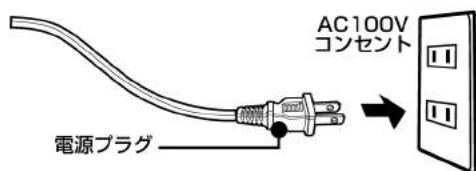
左側ケーブル・入力ジャック(白色)



右側ケーブル・入力ジャック(赤色)

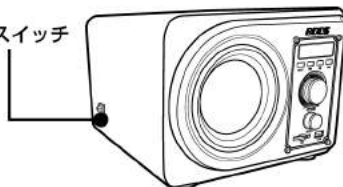


- 3** 電源プラグをAC100Vのコンセントに根元まで確実に差し込んで下さい。



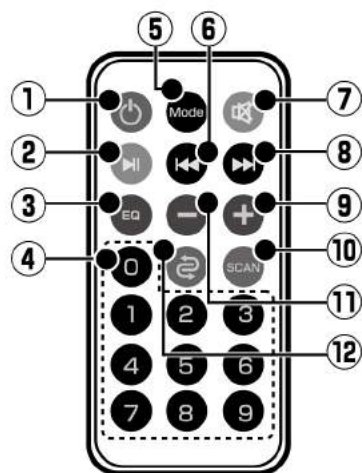
- 4** 本体側面にある電源スイッチをONにして下さい。
本製品が起動します。

電源スイッチ



リモコンの使用法

各部の名称



No.	ボタン名	はたらき
①	電源オン/オフ	• 本体の電源オン/オフをコントロールします。
②	一時停止/再生ボタン	• 再生中の音楽を一時停止/再生します。
③	イコライザー	• 再生中の音響効果を変更します。
④	局番ボタン	• FMラジオ時に局番号を入力すると選局します。
⑤	モード変更	• Bluetooth→AUX→USB→SD→FMの順に変更します。
⑥	曲戻し/早戻し	• USB/SDのトラックを前の曲に戻す/早戻しします。
⑦	消音	• 再生中の音量を0にします。
⑧	曲送り/早送り	• USB/SDのトラックを次の曲に送る/早送りします。
⑨	ボリュームアップ	• 再生中の音量を上げます。
⑩	ラジオ選局	• お住まい地域のラジオ選局を行います。
⑪	ボリュームダウン	• 再生中の音量を下げます。
⑫	リピート/ランダム再生	• 1曲リピートとランダム再生を行います。

※主電源のオン/オフは本体側面の電源スイッチで行って下さい。

受光範囲

本体リモコン受光部の正面から約5メートルの範囲内でお使い下さい。

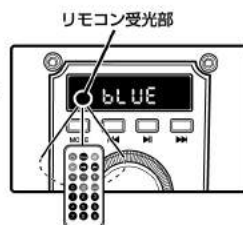
正しく動作させるために

次のような場合、リモコンが正しく動作しない場合があります。

- 本体とリモコンの間に障害物がある。
- リモコン受光部に直射日光などの強い光が当たっている。

リモコンは受光部正面に向けて操作して下さい。

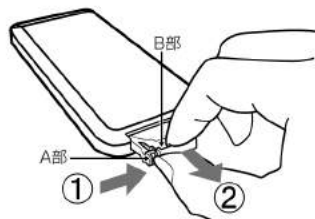
離れた距離（5m以上）や強い光がある場所では正しく動作しない場合があります。



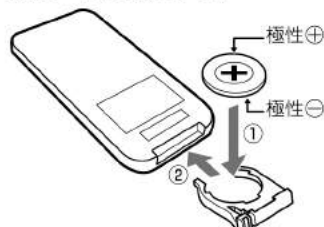
電池の入れ方

購入後初めてリモコンをご使用の場合は、電池ケース部の絶縁シート(透明)を引き抜いて下さい。取り付け済(付属)の電池はおためし用です。

- 1** 電池ケースのA部を押しながら、B部を手前に引き出して下さい。



- 2** リチウム電池CR2025を図のように入れ、電池ケースを閉めます。



ご注意

- 指定以外の電池を使用しないで下さい。
- 電池の極性(⊕と⊖)は正しく入れて下さい。

Bluetoothの使用方法

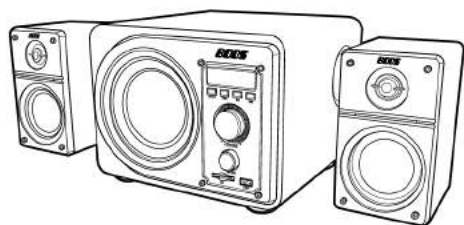
Bluetooth™とは?

Bluetooth(ブルートゥース)とは近距離の無線通信を行う機能です。
赤外線と異なり、障害物があっても通信が可能です。

Bluetooth 接続機器



Bluetooth接続機器で接続設定(ペアリング)を行えば本製品との無線通信が可能となります。



1 電源をONにして本製品を起動させます。

電源をONにすると「The bluetooth device is ready to paire」とナレーションが流れ、VOLUMEつまみの青色ライトが早く点滅します。表示部には「bBLUE」と表示されます。

bBLUE

<表示部>

2 本製品を検出させます。

スマートフォン・その他のBluetooth接続機器側の接続設定(ペアリング)を操作し、本製品の品番「HNB - PW3300Mk-2」を検索します。

注意

本製品の検出は10メートル以内で行って下さい。

3 本製品とペアリング(※1)させます。

スマートフォン・その他のBluetooth接続機器が本製品を検出できればリストより選択し、ペアリングを開始します。

ペアリングが成功すると、「The bluetooth device is connecting successfully」とナレーションが流れ、VOLUMEつまみの青色ライトが点灯します。

※1) Bluetooth対応機器と接続する事を「ペアリング」と呼びます。

注意

Bluetooth接続の設定は機種やメーカーによって異なります。
お持ちの機器説明書を参照して設定を行って下さい。

4 音楽を再生させます。

スマートフォン・その他のBluetooth接続機器側の再生ボタンを押すと、本体より音楽が流れ、青色ライトがゆっくり点滅します。

音楽の再生 / 一時停止や選曲はスマートフォン及びBluetooth接続機器側で行って下さい。
音量調節は本製品のボリュームつまみ、もしくは専用リモコンから行って下さい。

注意

専用リモコンの音量設定は電源ON時には最大の30に設定されています。音量を上げたい場合は本体のVOLUMEつまみを操作して下さい。

ペアリングの解除

ペアリングの解除は本製品の電源をOFFにするか、スマートフォン・その他のBluetooth接続機器側より接続設定(ペアリング)の解除を行って下さい。

(ペアリングが解除されると、VOLUMEつまみの青色ライトが早い点滅に変わります。)

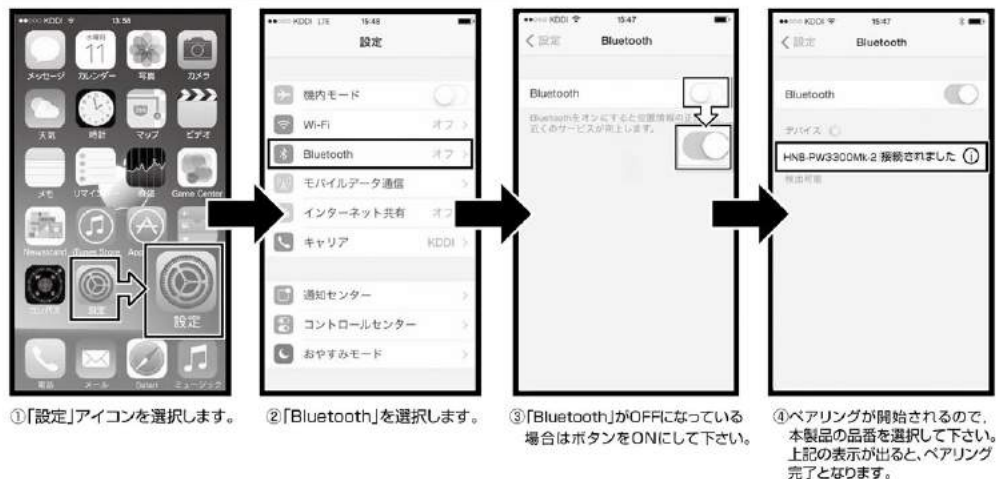
注意

ペアリング解除を忘れると他の機器と接続できません。

Bluetoothの使用方法

スマートフォンの接続設定

iOS (iPhone / iPad / iPod Touch) の場合



Android OS の場合



使用上の注意 (以下の状況ではBluetoothの接続が不安定になる場合があります。)

- ①コンクリートの壁や人体などの障害物が本製品と音楽再生機器の間に存在する場合。
- ②他のBluetooth機器を同時に使用した場合。(ペアリング回線は1つしかありません。)
- ③無線LANや電子レンジなどの電波を発生する機器が近くにある場合。
- ④Bluetoothの通信範囲は約10mです。範囲外に出ると接続が不安定になります。

USBメモリー時の使用方法

USBメモリーの音楽を聴く

電源をONにしてUSBメモリーを差し込みます。

USBメモリーを本製品のUSBメモリースロットに差し込むと、USBメモリー内の音楽データを自動再生します。

■USBメモリーが差し込まれていない場合の表示■



USBメモリーがセットされていない状態でUSBメモリーを差し込むと図①→図②の表示となります。

■USBメモリーが差し込まれている場合の表示■



USBメモリーが差し込まれている場合、電源を入るとUSBメモリー内の音楽データを読み込み、再生します。

<USBメモリーの差し込み方>

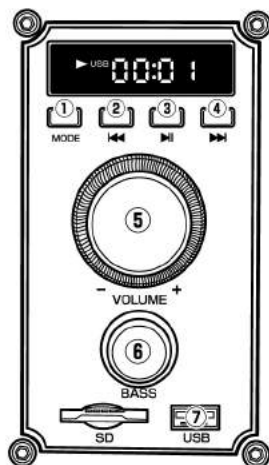


USBメモリーを差し込むと「MUSIC」と音声案内が流れます

USBメモリー使用時の操作方法

本体操作部

USBメモリー使用時にはモード変更がBluetooth→AUX→USB→FMラジオと言う順番に変わります。



- ① **モード変更ボタン**
USBメモリーが差し込まれていると、AUXの次がUSBとなります。
- ② **曲戻しボタン**
USBメモリー内のトラックを1曲前に戻して再生します。
- ③ **一時停止 / 再生ボタン**
USBメモリー内の音楽を一時停止 / 再生します。
- ④ **曲送りボタン**
USBメモリー内のトラックを1曲次に進めて再生します。
- ⑤ **音量調節つまみ**
再生中の音量をコントロールします。
- ⑥ **低音調節つまみ**
再生中の低音をコントロールします。
- ⑦ **USBメモリースロット**
USBメモリーを差し込みます。

リピートモード

USBメモリー使用時には専用リモコンのリピートモードが使用可能となります。

リモコンの ボタンを押すとリピートモードが変更されます。

■リピートモード表示■

リモコンのリピート/ランダム再生ボタンを押すと表示が以下の順に変わり、その後再生状況の表示に戻ります。



ランダム再生

メモリー内の音楽データをランダムに再生します。



1 曲リピート再生

メモリー内の音楽データを1曲のみ再生し続けます。



全曲再生

メモリー内の音楽データを全曲再生します。

ランダム再生はUSBメモリーだけでなく、SDカード内の音楽データも含めてランダムに再生します。

注意事項

- 1 規格団体USB-IFに認定されていないUSBメモリーは読み込み・再生ができない場合があります。認定されているUSBメモリーには右図の「認定マーク」が表示されています。
- 2 本製品にはUSB規格に準拠したUSBメモリーに記録されたMP3オーディオファイル/WMAオーディオファイルを再生します。著作権保護の音楽ファイルは再生されません。
- 3 USBメモリースロットは32MB～32GBまでのFAT32に対応しています。FAT12には対応していません。(※FAT32…Windowsの平均的なファイルシステム)



SDカード時の使用方法

SDカードの音楽を聴く

電源をONにしてSDカードを差し込みます。

SDカードを本製品のSDカードスロットに差し込むと、SDカード内の音楽データを自動再生します。

■SDカードが差し込まれていない場合の表示■



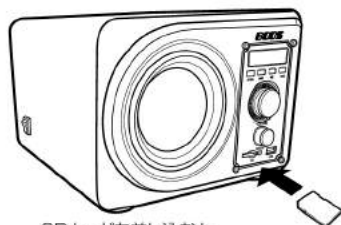
SDカードがセットされていない状態でSDカードを差し込むと図①→図②の表示となります。

■SDカードが差し込まれている場合の表示■



SDカードが差し込まれている場合、電源を入るとSDカード内の音楽データを読み込み、再生します。

<SDカードの差し込み方>

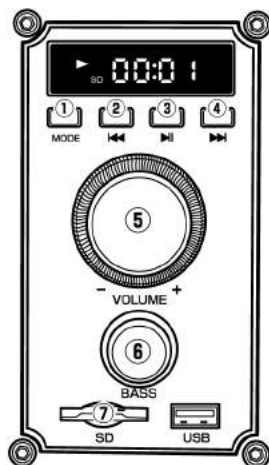


SDカードを差し込むと「MUSIC」と音声案内が流れます

SDカード使用時の操作方法

本体操作部

SDカード使用時にはモード変更がBluetooth→AUX→SD→FMラジオと言う順番に変わります。



- ① モード変更ボタン**
SDカードが差し込まれていると、AUXの次がSDとなります。
- ② 曲戻しボタン**
SDカード内のトラックを1曲前に戻して再生します。
- ③ 一時停止 / 再生ボタン**
SDカード内の音楽を一時停止 / 再生します。
- ④ 曲送りボタン**
SDカード内のトラックを1曲次に進めて再生します。
- ⑤ 音量調節つまみ**
再生中の音量をコントロールします。
- ⑥ 低音調節つまみ**
再生中の低音をコントロールします。
- ⑦ SD カードスロット**
SDカードを差し込みます。

リピートモード

SDカード使用時には専用リモコンのリピートモードが使用可能となります。

リモコンの ボタンを押すとリピートモードが変更されます。

■ リピートモード表示 ■

リモコンのリピート/ランダム再生ボタンを押すと表示が以下の順に変わり、その後再生状況の表示に戻ります。

	ランダム再生 メモリー内の音楽データをランダムに再生します。
	1 曲リピート再生 メモリー内の音楽データを1曲のみ再生し続けます。
	全曲再生 メモリー内の音楽データを全曲再生します。

ランダム再生はSDカードだけでなく、USBメモリー内の音楽データも含めてランダムに再生します。

注意事項

- 1** 規格団体SDAに認定されていないSDカードは読み込み・再生ができない場合があります。認定されているSDカードには右図の「認定マーク」が表示されています。
- 2** 本製品にはSDカード規格に準拠したSDカードに記録されたMP3オーディオファイル/WMAオーディオファイルを再生します。著作権保護付の音楽ファイルは再生されません。
- 3** SDカードスロットは32MB～32GBまでのFAT32に対応しています。FAT12には対応していません。(※FAT32…Windowsの平均的なファイルシステム)



FMラジオの使用法

FMラジオを聴く

本体背面のFMラジオ用アンテナ線を固定する。

FMラジオ用アンテナ線を壁や棚にピンなどに掛けてご使用下さい。
壁に掛ける際にはアンテナ線をピンで刺さない様にご注意下さい。

■FMラジオモードまでの表示■



電源を入れるとBluetoothモードでスタートします。
モードボタンを押すと図①→図②→図③の順でFMラジオモードに変わります。
(※工場出荷時の放送は76.0MHzから開始となります。)
FMラジオモードになると「The radio mode」と音声案内が流れます

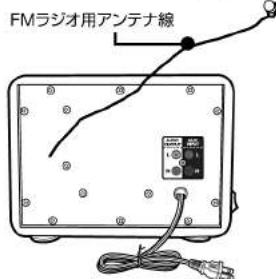
■FMラジオのチューニング方法■

ラジオ局のオートチューニングは専用リモコンで行います。

FMラジオモードに合わせ、**SCAN** ボタンを押すとオートチューニングが開始されます。

ラジオ局のチューニングは、専用リモコンで数字を入力する事も可能です。
(例:FM80.2に合わせたい場合、リモコンの数字ボタンで802と入力する。)

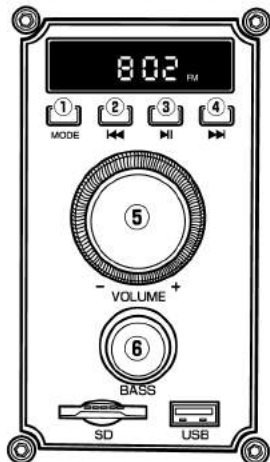
<FMラジオアンテナの設置>



FMラジオモード時の操作方法

本体操作部

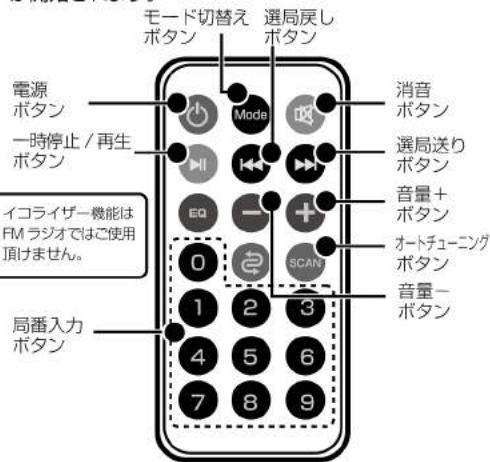
Bluetooth→AUX→FMラジオの順に変わります。
SDカードとUSBメモリーが差し込まれると順番が変わります。



- ① **モード変更ボタン**
Bluetooth→AUX→FMラジオの順に変わります。
- ② **選局戻しボタン**
登録した周波数を戻します。
- ③ **一時停止 / 再生ボタン**
FMラジオを一時停止/再生します。
- ④ **選局送りボタン**
登録した周波数を送ります。
- ⑤ **音量調節つまみ**
FMラジオの音量をコントロールします。
- ⑥ **低音調節つまみ**
FMラジオの低音をコントロールします。

専用リモコン

専用リモコンの**SCAN** ボタンを押すとオートチューニングが開始されます。



ワイドFMについて

「ワイドFM」とはAMラジオの番組をFM放送で受信する事です。
AM放送は遠距離まで電波が届く半面、建物などの障害物により電波が途切れやすくなります。
ワイドFMはFM中継補完局を使ってAMの番組を放送するため、AM放送に比べてクリアな音質で番組内容を楽しめます。
(割り当てられた放送局は地域によって異なります。また、地方から東京のラジオは受信できません。)

ワイドFM

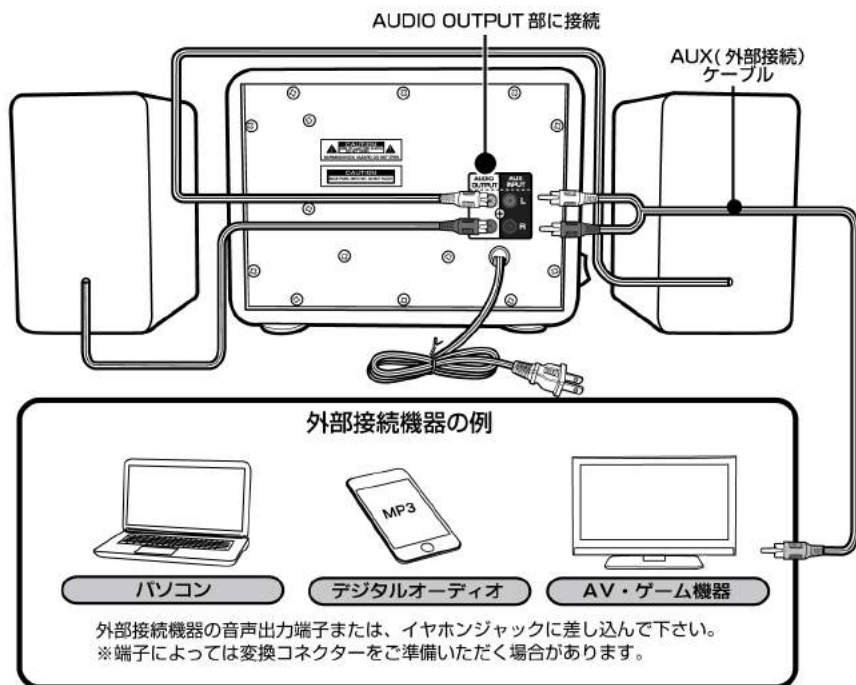


AUXの使用方法

外部機器と接続する

外部機器との接続（AUX接続の準備）

テレビやオーディオ機器付属のイヤホンジャックにAUXケーブルを接続します。
続いて、本体背面のAUX INPUT部にAUXケーブルの出力ジャックを差し込みます。



1 電源をONにして本製品を起動させます。

電源をONにすると「The bluetooth device is ready to paire」とナレーションが流れ、Bluetoothモードになります。



操作部のモード変更ボタンを押してAUX(外部音声入力)モードに変更します。(モードを変更すると「LINE IN」と音声案内が流れます。)

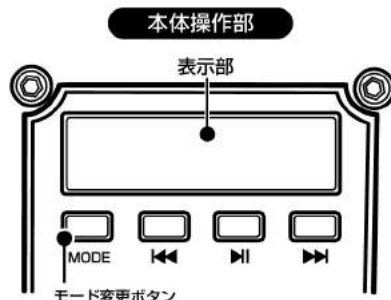
2 外部機器の音楽データを再生します。

本体のモードを「AUX」に変更した後、上図の外部機器側より音楽データを再生して下さい。



警告

iPhoneからAUXケーブルで接続する際、誤って「OUTPUT」に差し込むとiPhoneが破損する恐れがあります。
配線の接続間違いによる破損の場合、弊社は一切の責任を負いません。



イコライザー/音量の使用方法

イコライザーを使用する

リモコンの「EQ」ボタンでイコライザー(音響効果)を設定する。

「EQ」ボタンを押す度にイコライザーのモードが切替わります。設定したいイコライザーまでボタンを押して下さい。

イコライザーの切替わり順

イコライザーの内容は本体の表示部に以下の順で表示されます。



イコライザー詳細解説

EQ0-Normal ----- 電源をONにした際の初期設定です。

EQ1-Rock ----- 楽器の音が優先になり、低音と高音がはっきり聴こえます。

EQ2-Pop ----- 歌と低音がはっきり聴こえます。楽器の音は控えめになります。

EQ3-Classic ----- 音域が平坦になり、室内で演奏している様に感じます。

EQ4-Jazz ----- 楽器のベースラインがはっきりと聴こえますが、低音は控えめになります。

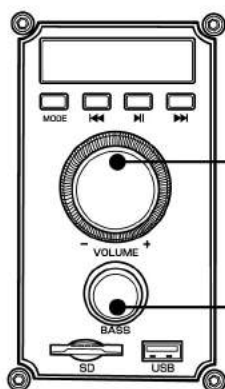
EQ5-Country ----- 最も低音が控えめになり、歌と楽器の音がはっきりと聞こえます。

※電源をOFFにすると事前に設定したイコライザーは解除され、「EQ0-Normal」に設定し直されます。

ご注意 イコライザーはFMラジオとAUX接続(外部機器との接続)では使用できません。

音量の操作方法

本体の音量調節つまみを使う



本体操作部の音量調節つまみを右に回すと音量を上げ、つまみを左に回すと音量を下げます。

音量調節つまみ

本体操作部の低音調節つまみを右に回すと低音が効き、左に回すと低音が効かなくなります。

低音調節つまみ

リモコンのボタンを押す



ボリュームダウン/ボリュームアップボタン

専用リモコンの音量設定は電源ON時には最大の30に設定されています。音量を上げたい場合は本体のVOLUMEつまみを操作して下さい。

30が最大音量となります。リモコンでの操作は音量の微調整にご利用下さい。

表示部の音量表示



音量表示はすぐに消え、現在の使用モードが表示されます。

お手入れの仕方

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
また、濡れた手で抜き差ししないで下さい。感電やけがをする恐れがあります。

汚れは、ぬるま湯か中性洗剤に浸した柔らかい布を固くしぼってふき、さらに乾いた柔らかい布で水分や洗剤が残らないようふき取って下さい。



警告

お手入れには中性洗剤を使用して下さい。シンナー・アルコール・ベンジンなど使用しないで下さい。
破損・変質の原因になります。
化学ぞうきんを使う際は、その製品の注意書に従って下さい。
「スプレー」をかけないで下さい。(掃除用、殺虫剤、整髪用など)破損・変質の原因となります。
水周りや高温(40℃以上)の場所、常に薬品・油などを使用する場所では使用しないで下さい。

故障かな？と思ったら

修理をご依頼される前に、以下の点をご確認下さい。

それでも異常のある場合は、弊社お客様相談窓口までお問い合わせ下さい。(Tel 072-811-2555)

弊社休日の場合は、お買い上げの販売店まで保証書を添え、商品をご持参下さい。

誤った修理は火災や感電などの危険な事故につながります。尚、ご自身での分解・改造した場合は保証対象外となります。

症 状	原 因	処置方法
本体部		
音が出ない	● 音量レベルが下がっている ● 再生モードが合っていない ● 電源プラグがはずれている	→ 音量レベルを上げる → 再生モードを合わせる → 電源プラグをコンセントに確実に差し込む
SD カード、USB メモリー部		
音が出ない	● SD カードに傷がある ● USBメモリーに傷がある	→ SD カード/USBメモリーを交換する
再生できない	● P7・P8の規格認定されたSDカード/USBメモリーではない ● 音楽データの録音方式がMP3形式ではない	→ 規格団体の認定を受けたSDカード/USBメモリーに交換する → 音楽データをMP3形式で録音する
ラジオ部		
雑音が多く聞きづらい	● 電源雑音の影響を受けている ● モーター、蛍光灯などの電気器具、 ● 電波が弱い	→ ACアダプターの刃向きを差し換える → 本製品を雑音源から離す、テレビを消す、またはテレビから離す → アンテナ線の位置を調整する
Bluetooth部		
Bluetoothが接続しない (ペアリングしない)	● モードがBluetoothになっていない ● Bluetooth接続機器の接続モード ● 他のBluetooth接続機器 (ヘッドホンスピーカー、マウス、キーボードなど)を併用している	→ P5の記載に従ってにBluetoothモードに変更する (「blue」表示に換える) → Bluetooth接続機器の接続設定をONにする設定がされていない → 他のBluetooth接続機器の使用を停止する

製品仕様

Bluetooth部

適合規格	Bluetooth ver-2.1 +EDR
対応プロファイル	■ A2DP (ステレオ音質をストリーミング配信するプロファイル。) ■ AVRCP (操作対象デバイスをリモート操作するプロファイル。) ■ HFP (電話の発着信や通話を行なうためのプロファイル。)
送信周波数	2.4GHz(2402~2480MHz)
送信出力	Class2 0.25mW(-4dBm)~2.5mW(+4 dBm)

SD カード部

再生形式	MP3,WMA,WAV,SD/MMC/SDHC card
ビットレート	12M~24MBps
対応ファイルシステム	FAT16・FAT32・exFAT
再生可能 SD カード	SDA 規格認定品 (Class1~Class10)

USB メモリー部

再生形式	MP3,WMA,WAV,SD/MMC/SDHC card
ビットレート	12Mbps
対応ファイルシステム	FAT16・FAT32・exFAT
再生可能 USB メモリー	USB-IF 規格認定品 (USB1.0~USB3.0)

ラジオ部

受信周波数	FM : 76 MHz~ 108MHz (ワイドFM補完放送対応)
-------	-----------------------------------

共通部

	ウーファー	サテライトスピーカー
実用最大出力	13W	10W×2
周波数特性	55Hz~200Hz	200Hz~18kHz
インピーダンス	4Ω	4Ω
最大外形寸法	W240×D240×H180mm	W94×D110×H164mm
電源周波数	AC 100V50/60Hz	
消費電力	8~45W (ボリューム最小~最大時で計測)	
S/N比	≥80dB	
入力端子	外部入力用ピンジャック	
コード長	約 1.4m	
製品重量	約 4kg (本体、サテライトスピーカーを含む重量)	
付属品	保証書、取扱説明書、AUXケーブル、専用リモコン	

製品の保証に関しては、保証書裏面をご確認下さい

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談下さい。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

■お客様ご相談窓口 エッチ・エヌ・ビー販売株式会社

TEL 072-811-2555 土日祝祭日を除く 9:00~17:00

FAX 072-811-2556 E-mail support@hnb-hanbai.com

T572-0824 大阪府寝屋川市萱島東3-24-9

△ 注意 △

本製品は家庭用です。
業務用としてご使用になられた
場合は保証適用外となります。
ご了承下さい。

補修用性能部品の保有期間

- 補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

修理交換部品について

- 修理のために取り外した部品は、弊社にて引取り処分させていただきます。
- 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

△ 注意 △

本製品は国内専用です。
国外で使用された場合の故障
は保証適用外となります。
ご了承下さい。

修理や交換を依頼される際は

持込修理

12ページに従って調べていただき、なお異常がある場合は使用を止め、弊社またはお買い上げ販売店までお問合せ下さい。

- 故障品の修理に関しましては、販売店への持込が原則となります。
持込に関する諸経費(送料、交通費)はおお客様のご負担とさせていただきます。
- 商品検査後に故障が確認されない場合、**着払送料・返却送料はおお客様負担となります。**

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について



【設計上の標準使用期間】6年
【製造年】2017年
設計上の標準使用期間を超えて
使用されますと、経年劣化による
発火・火災等の事故に至る恐れが
あります。

製品本体に表示されている【設計上の標準使用期間】は、標準的な使用条件の下で
正しい取扱い、維持管理が行われた際に、安全上の支障なく使用する事ができます。
標準的な期間として設計上設定される期間であり、無償保証期間とは異なります。

※使用頻度、環境、設置場所などが標準的な使用条件でない場合や、本来の目的以外の方法で使用された
場合は、記載の設計上の標準使用期間よりも短い期間で経年劣化が起きる可能性があります。

□ 修理料金のしくみ

□ 保証期間が過ぎているときは

修理料金は技術料・部品代などで構成されています。

保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店に
ご相談下さい。

技術料 故障した製品を正常に修復するための料金です。

修理すれば使用できる場合は、お客様のご希望によって
有料で修理させていただきます。

部品代 修理に使用した部品代金です。

修理メモ

※保証書は、本書に明示した期間・条件に従って無償修理をお約束するものです。保証書によって、お客様の法律上の
権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明な点がある場合は、お買い上げの
販売店、または弊社までお問い合わせ下さい。

※保証期間経過後の修理や補修性能部品の保有期間については本ページの「補修用性能部品の保有期間」をご覧ください。



BOOS

HNB-PW3300Mk-2

エッチ・エヌ・ビー販売株式会社
〒572-0824 大阪府寝屋川市萱島東3丁目24-9

■お客様相談窓口

TEL **072-811-2555** 土日祝祭日を除く
9:00~17:00

FAX 072-811-2556 E-mail support@hnb-hanbai.com